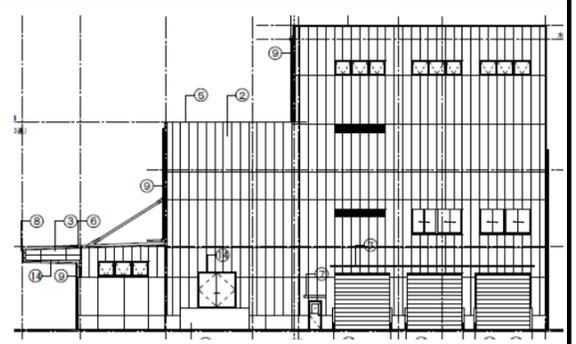


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茅ヶ崎市環境事業センター粗大ごみ処理施設	階数	3
建設地	神奈川県茅ヶ崎市萩園字古新田836番1、836番7、837番2	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	28人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2023年12月21日
敷地面積	7,783㎡	作成者	メタウォーター(株)一級建築士事務所
建築面積	2,423㎡	確認日	2023年12月21日
延床面積	4,260㎡	確認者	メタウォーター(株)一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 81%  
③上記+②以外の 81%  
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

**Q のスコア = 3.0**

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

#### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.4**

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	公共施設ということもあり、積極的な緑化計画や雨水利用、建物だけの省エネに留まらず敷地や周辺環境、地球全体への負荷を削減して、よりよくなるように配慮した。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
トップライトを設置したり、JIS規格F☆☆☆☆を満たしていたりして、室内にいる人がより快適に過ごせることに配慮した。	配管の更新頻度や電源設備の地下空間への設置なしとしたりして、日常的な維持管理に配慮した。	まちなみや景観については基準値程度の配慮をした。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮の熱負荷制御や設備システムの高効率化に配慮した。	雨水利用システムを導入したりALCを使用したりして資源マテリアル消費の低減や環境負荷削減へ配慮した。	雨水利用をしたり、敷地内の車路や駐車場の確保をしたりして敷地内のみでなく周辺環境へ負荷が発生しないように配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される